

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第29期第1四半期（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社ピエトロ
【英訳名】	PIETRO Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 邦彦
【本店の所在の場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 池田 邦雄
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区天神三丁目4番5号
【電話番号】	(092)716-0300（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 池田 邦雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第28期 第1四半期連結 累計期間	第29期 第1四半期連結 累計期間	第28期
会計期間		自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	(千円)	2,444,653	2,477,513	9,660,442
経常利益	(千円)	129,754	200,762	464,321
四半期(当期)純利益	(千円)	45,797	92,915	219,632
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	40,040	94,374	227,888
純資産額	(千円)	3,061,647	3,246,907	3,253,173
総資産額	(千円)	7,301,246	7,506,464	7,444,262
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	8.19	16.62	39.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	41.9	43.3	43.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループは、当社、子会社3社及びその他の関係会社1社で構成されており、各種ドレッシング・ソース等の食品の製造販売、パスタ料理をメインとしたレストランの経営を主要な事業としております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は次の通りであります。

< 食品事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

< 通信販売事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

< レストラン事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

< その他(本社ビル等の賃貸)事業 >

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間は、「第4 経理の状況」において四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、キャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容は記載しておりません。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安を背景に輸出企業の収益が改善するとともに、経済対策による波及効果への期待感により個人消費が緩やかに回復する状況で推移いたしました。食品業界及び外食業界におきましては、消費者の節約志向が続く中で、一部には高単価商品を求める動きもみられます。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、さらなるブランド価値向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、通信販売事業とレストラン事業が減収となりましたが、食品事業が大きく伸長したことにより、24億77百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴う増益とコスト管理の強化等により、営業利益は2億2百万円（前年同期比50.0%増）、経常利益は2億円（前年同期比54.7%増）、四半期純利益は92百万円（前年同期比102.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

食品事業

ブランド戦略のもと、お客様の視点に立ったきめ細かい営業を展開したことから、主力ドレッシングであるオレンジキャップとグリーンが順調に売上を伸ばしました。また、生タイプのドレッシングの特徴を生かした「オリーブオイル」シリーズも好調に推移いたしました。利益面では、増収効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は17億23百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は6億3百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

通信販売事業

通信販売限定商品として、グラタン、スープ、パスタソース、フローズンヨーグルトなどの新商品を投入し、品揃えの充実を図ってまいりました。また、ダイレクトメール等により、効果的な販促活動を実施してまいりました。しかしながら、オイリオ商品の販売受託契約の解消があったことから、減収となりました。

以上の結果、売上高は33百万円（前年同期比72.8%減）、セグメント損失は17百万円（前年同期は19百万円のセグメント損失）となりました。

レストラン事業

旬の食材を取り入れた季節ごとのフェアとして、毎年ご好評をいただいている「冷製パスタフェア」に加え、季節の「イタリアー麵」をメニューに加えるなど、お客様に楽しんでいただけるサービスのご提供に注力いたしました。また、「ビエトロクラブ」会員様向けの販促を実施して、集客力の向上を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は前期の閉店の影響により6億81百万円（前年同期比5.5%減）となりましたが、セグメント利益は改善して11百万円（前年同期比74.0%増）となりました。

その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は38百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は19百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ62百万円増加し75億6百万円となりました。これは主に現金及び預金（長期預金を含む）が81百万円減少する一方、売掛金が1億47百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し42億59百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した1億円、役員退職慰労引当金が増加した48百万円それぞれ増加する一方、未払法人税等の減少73百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し32億46百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億円及び四半期純利益92百万円の計上によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は販売費及び一般管理費に含まれており、その総額は14百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名又は登 録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	5,591,630	5,591,630	東京証券取引所市場第二部	単元株式数100株
計	5,591,630	5,591,630		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		5,591,630		474,400		516,922

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,590,400	55,904	
単元未満株式	普通株式 830		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,591,630		
総株主の議決権		55,904	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ピエトロ	福岡市中央区天神 三丁目4番5号	400		400	0.01
計		400		400	0.01

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,119,667	923,499
預け金	62,883	54,203
売掛金	1,209,894	1,357,125
商品及び製品	93,205	107,431
仕掛品	3,424	4,154
原材料及び貯蔵品	114,127	129,933
繰延税金資産	35,313	17,697
その他	107,669	102,167
貸倒引当金	445	1,420
流動資産合計	2,745,739	2,694,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,557,792	1,532,557
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	201,174	188,281
有形固定資産合計	3,765,168	3,727,041
無形固定資産	18,004	33,220
投資その他の資産		
長期預金	-	115,000
敷金及び保証金	459,688	456,247
その他	477,795	499,969
貸倒引当金	22,135	19,807
投資その他の資産合計	915,348	1,051,409
固定資産合計	4,698,522	4,811,672
資産合計	7,444,262	7,506,464
負債の部		
流動負債		
買掛金	527,403	550,977
短期借入金	1,250,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	323,220	303,210
未払金	486,117	439,720
未払法人税等	169,143	95,443
賞与引当金	46,764	25,855
資産除去債務	2,151	2,162
その他	218,926	299,486
流動負債合計	3,023,726	3,066,855
固定負債		
長期借入金	392,871	376,597
退職給付引当金	62,812	65,425
役員退職慰労引当金	495,359	543,656
資産除去債務	46,475	46,697
その他	169,843	160,325
固定負債合計	1,167,362	1,192,701
負債合計	4,191,088	4,259,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,252,024	2,244,299
自己株式	449	449
株主資本合計	3,242,897	3,235,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,116	13,599
為替換算調整勘定	1,845	1,864
その他の包括利益累計額合計	10,270	11,735
少数株主持分	5	-
純資産合計	3,253,173	3,246,907
負債純資産合計	7,444,262	7,506,464

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,444,653	2,477,513
売上原価	1,003,489	995,780
売上総利益	1,441,163	1,481,732
販売費及び一般管理費	1,306,070	1,279,069
営業利益	135,092	202,662
営業外収益		
受取利息	45	48
受取配当金	80	81
為替差益	-	2,742
その他	1,346	166
営業外収益合計	1,472	3,038
営業外費用		
支払利息	3,879	3,332
シンジケートローン手数料	1,546	1,581
その他	1,385	24
営業外費用合計	6,811	4,938
経常利益	129,754	200,762
特別利益		
負ののれん発生益	1,699	-
特別利益合計	1,699	-
特別損失		
固定資産除却損	292	79
特別損失合計	292	79
税金等調整前四半期純利益	131,161	200,683
法人税、住民税及び事業税	21,785	89,900
法人税等調整額	65,006	17,864
法人税等合計	86,792	107,765
少数株主損益調整前四半期純利益	44,368	92,918
少数株主利益又は少数株主損失()	1,429	2
四半期純利益	45,797	92,915

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,368	92,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,051	1,483
為替換算調整勘定	723	26
その他の包括利益合計	4,328	1,456
四半期包括利益	40,040	94,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,252	94,379
少数株主に係る四半期包括利益	1,212	5

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	45,433千円	44,786千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	100,641	18	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年5月31日に株式会社大八屋(平成24年8月3日 株式会社ビエトロフレッシュサプライへ商号変更)の議決権の100%を取得し、連結子会社化しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間において株式会社大八屋が保有しておりました当社株式4,003千円が自己株式として増加しております。

なお、株式会社大八屋は、平成24年8月1日に全株式を売却しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	100,640	18	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,561,844	124,694	721,222	36,891	2,444,653		2,444,653
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高				487	487	487	
計	1,561,844	124,694	721,222	37,378	2,445,140	487	2,444,653
セグメント利益 又は損失()	566,378	19,552	6,860	17,900	571,586	436,493	135,092

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は436,493千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて日清オイリオグループ(株)との生産管理契約を解消しているため、同事業セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	通信販売 事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,723,249	33,868	681,867	38,528	2,477,513		2,477,513
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高				487	487	487	
計	1,723,249	33,868	681,867	39,015	2,478,000	487	2,477,513
セグメント利益 又は損失()	603,167	17,713	11,938	19,470	616,863	414,201	202,662

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は414,201千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度にて「通信販売事業」の日清オイリオグループ(株)の通信販売対象商品の販売受託業務契約は解消しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円19銭	16円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	45,797	92,915
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	45,797	92,915
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,589	5,591

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

株式会社ピエトロ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小淵 輝生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 次男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ピエトロの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ピエトロ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。